

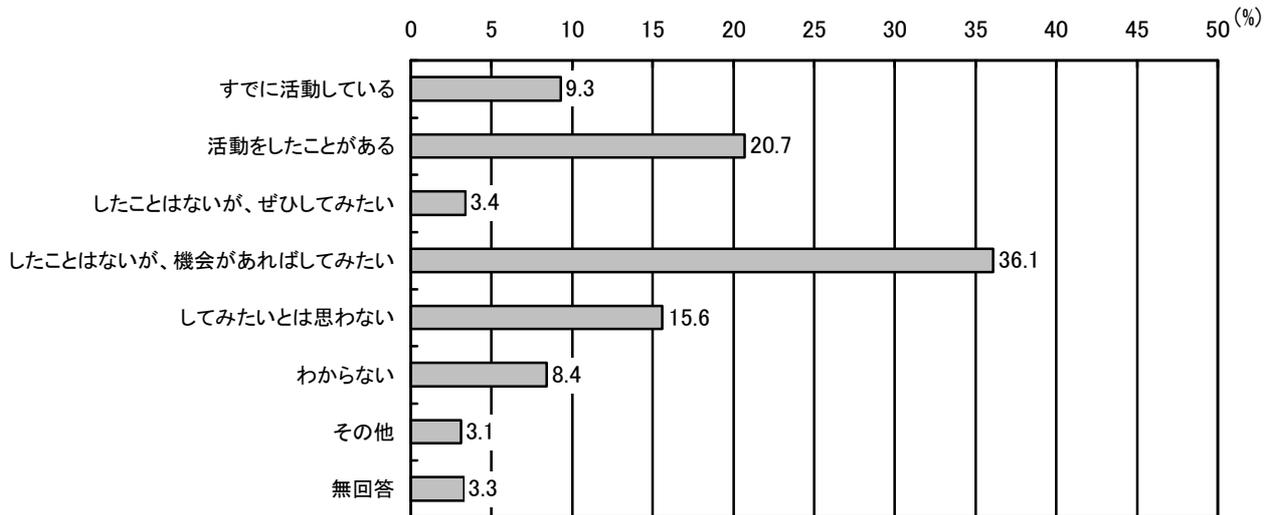
# 4. ボランティア活動について

## 4-1 ボランティア活動への取り組み状況

問8 あなたのボランティア活動への取り組みをお答えください。(○は1つ)

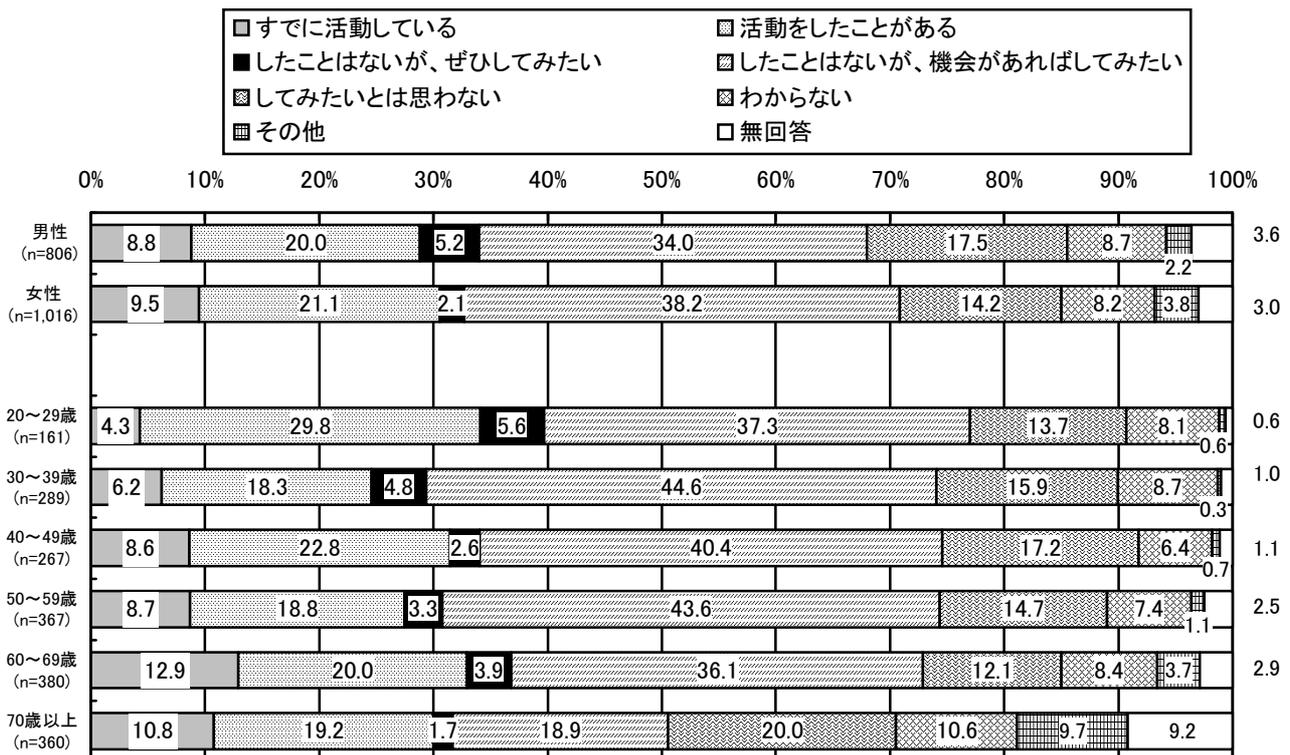
※ボランティア活動とは、自分の自発的な意思に基づいて地域や社会に貢献するため、時間や知識、労力、技術などを提供することをいいます。

図 4-1 (ボランティア活動への取り組み状況) 【n=1,863】



ボランティア活動への取り組み状況で、「すでに活動している (9.3%)」と「活動をしたことがある (20.7%)」を合わせた参加経験者は 30.0%であるが、「したことはないが、機会があればしてみたい (36.1%)」と「したことはないが、ぜひしてみたい (3.4%)」を合わせた参加意欲がある人は 39.5%となっている。(図 4-1)

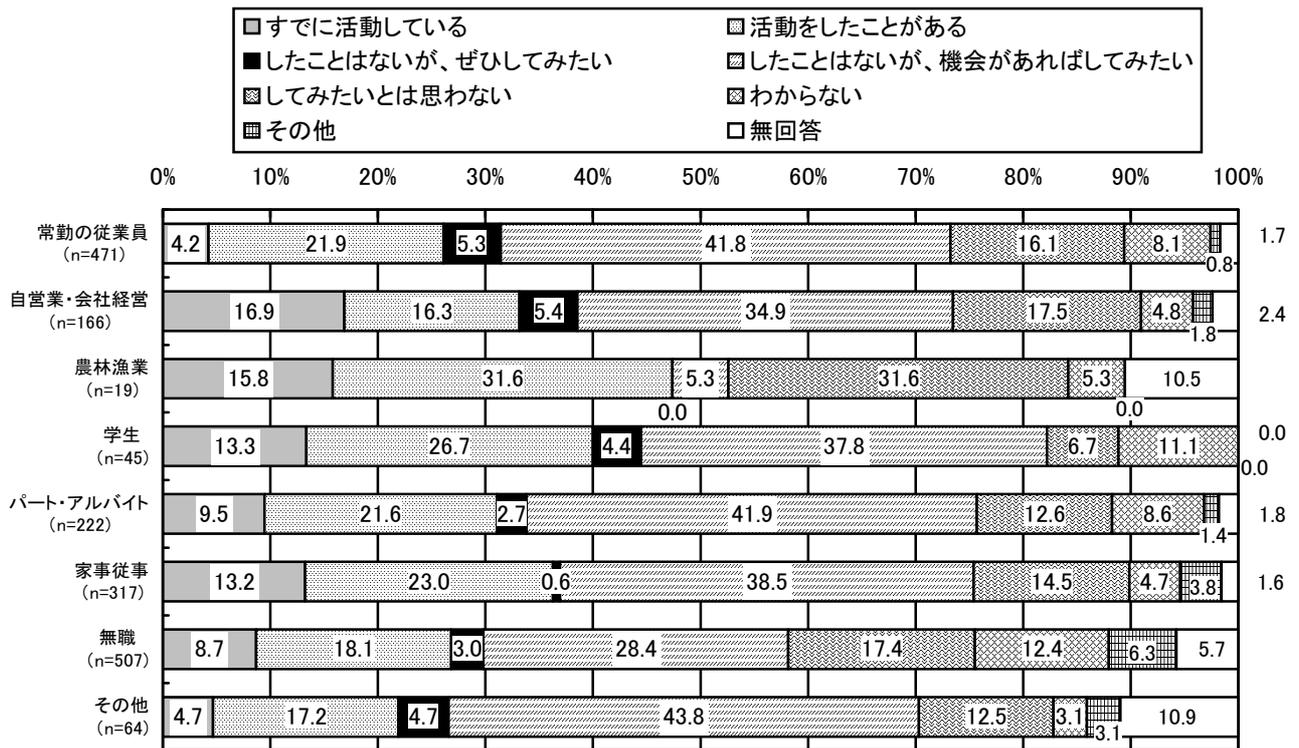
図 4-1-1 (性・年齢別 ボランティア活動への取り組み状況)



性別にみると、男女間では大きな差は見られないが、参加経験者（「すでに活動している」と「活動をしたことがある」を合わせた数値）、参加意欲がある人（「したことはないが、ぜひしてみたい」と「したことはないが、機会があればしてみたい」を合わせた数値）はともに、女性が若干上回っている。

年齢別にみると、参加経験者で最も高い割合を示しているのが20～29歳で34.1%となっており、次いで「60～69歳（32.9%）」「40～49歳（31.4%）」の順となっている。参加意欲がある人で最も高い割合を示しているのが30～39歳で49.4%となっており、次いで「50～59歳（46.9%）」「40～49歳（43.0%）」の順となっている。（図4-1-1）

図4-1-2（職業別 ボランティア活動への取り組み状況）



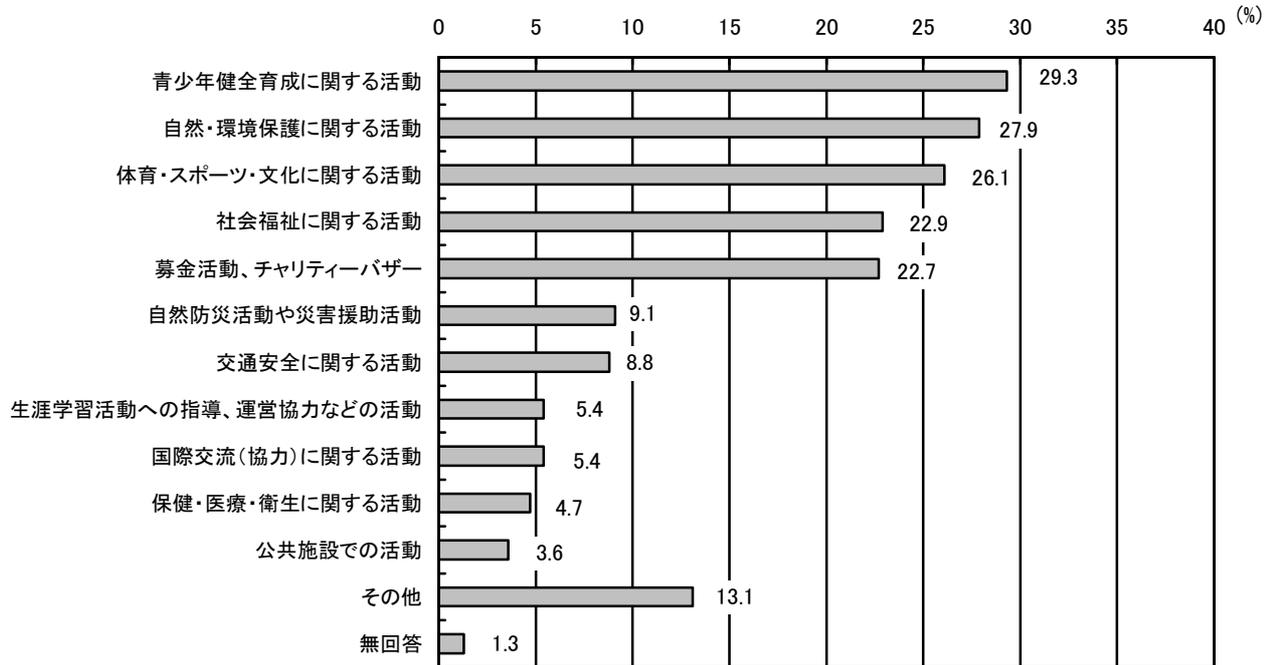
職業別にみると、参加経験者で最も高い割合を示しているのが「農林漁業」で47.4%と約半数であるが、「してみたいとは思わない」と答えている人も31.6%と多くなっている。次いで高い割合を示しているのは「学生（40.0%）」「家事従事（36.2%）」の順となっている。参加意欲がある人で最も高い割合を示しているのが「その他（非常勤職員等）」で48.5%となっており、次いで「常勤の従業員（47.1%）」「パート・アルバイト（44.6%）」の順となっている。

参加経験者・参加意欲を合わせた数値で最も高い割合を示している職業は「学生（82.2%）」で8割を超えており、次いで「パート・アルバイト（75.7%）」「家事従事（75.3%）」の順となっている。（図4-1-2）

## 4-2 活動している(していた)ボランティア活動の種類

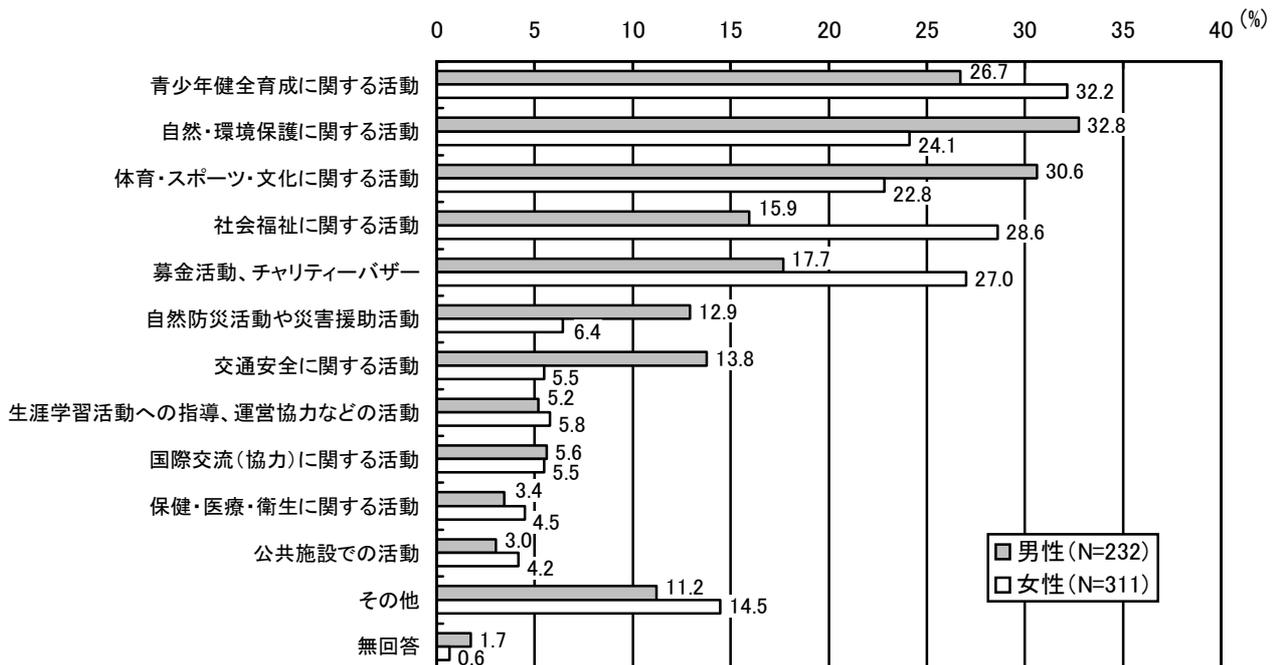
問8で「1. すでに活動している」、「2. 活動をしたことがある」と答えられた方にお尋ねします。  
問8-1 あなたが行った、または行っている活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 4-2 (活動している (していた) ボランティア活動の種類 複数回答)【n=559】



活動している (していた) ボランティア活動では「青少年健全育成に関する活動」が 29.3%と最も高く、次いで「自然・環境保護に関する活動 (27.9%)」「体育・スポーツ・文化に関する活動 (26.1%)」「社会福祉に関する活動 (22.9%)」の順となっている。(図 4-2)

図 4-2-1 (性別 活動している (していた) ボランティア活動の種類 複数回答)



性別にみると、男性より女性の割合が高い活動は、「社会福祉に関する活動」「募金活動、チャリティーバザー」「青少年健全育成に関する活動」となっており、それぞれ12.7、9.3、5.5ポイント高くなっている。また、男性の割合が高い活動は、「自然・環境保護に関する活動」「交通安全に関する活動」「体育・スポーツ・文化に関する活動」「自然防災活動や災害援助活動」となっており、それぞれ8.7、8.3、7.8、6.5ポイント高くなっている。

また、上位3項目でも男性と女性では大きく異なり、男性は「自然・環境保護に関する活動(32.8%)」「体育・スポーツ・文化に関する活動(30.6%)」「青少年健全育成に関する活動(26.7%)」の順になっているのに対し、女性は「青少年健全育成に関する活動(32.2%)」「社会福祉に関する活動(28.6%)」「募金活動、チャリティーバザー(27.0%)」の順となっている。(図4-2-1)

**表 4-2-2 (年齢別 活動している(していた)ボランティア活動の種類 複数回答)【単位：%】**

	20～29歳 (n=55)	30～39歳 (n=71)	40～49歳 (n=84)	50～59歳 (n=101)	60～69歳 (n=125)	70歳以上 (n=108)
1位	社会福祉に関する活動 40.0	青少年健全育成に関する活動 38.0	青少年健全育成に関する活動 45.2	自然・環境保護に関する活動 33.7	青少年健全育成に関する活動 28.8	自然・環境保護に関する活動 29.6
2位	体育・スポーツ・文化に関する活動 30.9	募金活動、チャリティーバザー 28.2	体育・スポーツ・文化に関する活動 39.3	青少年健全育成に関する活動 25.7	自然・環境保護に関する活動 28.0	その他 21.3
3位	青少年健全育成に関する活動 27.3	体育・スポーツ・文化に関する活動 23.9	自然・環境保護に関する活動 27.4	体育・スポーツ・文化に関する活動 24.8	募金活動、チャリティーバザー 27.2	青少年健全育成に関する活動 18.5
4位	募金活動、チャリティーバザー 27.3	社会福祉に関する活動 21.1	募金活動、チャリティーバザー 26.2	社会福祉に関する活動 22.8	社会福祉に関する活動 26.4	体育・スポーツ・文化に関する活動 17.6
5位	自然・環境保護に関する活動 25.5	自然・環境保護に関する活動 19.7	社会福祉に関する活動 19.0	募金活動、チャリティーバザー 17.8	体育・スポーツ・文化に関する活動 25.6	社会福祉に関する活動 15.7

年齢別にみると、20～29歳は「社会福祉に関する活動」、30～39歳・40～49歳・60～69歳は「青少年健全育成に関する活動」、50～59歳・70歳以上は「自然・環境保護に関する活動」が最も多くなっている。

2位では、20～29歳・40～49歳は「体育・スポーツ・文化に関する活動」、30～39歳は「募金活動、チャリティーバザー」、50～59歳は「青少年健全育成に関する活動」、60～69歳は「自然・環境保護に関する活動」となっている。

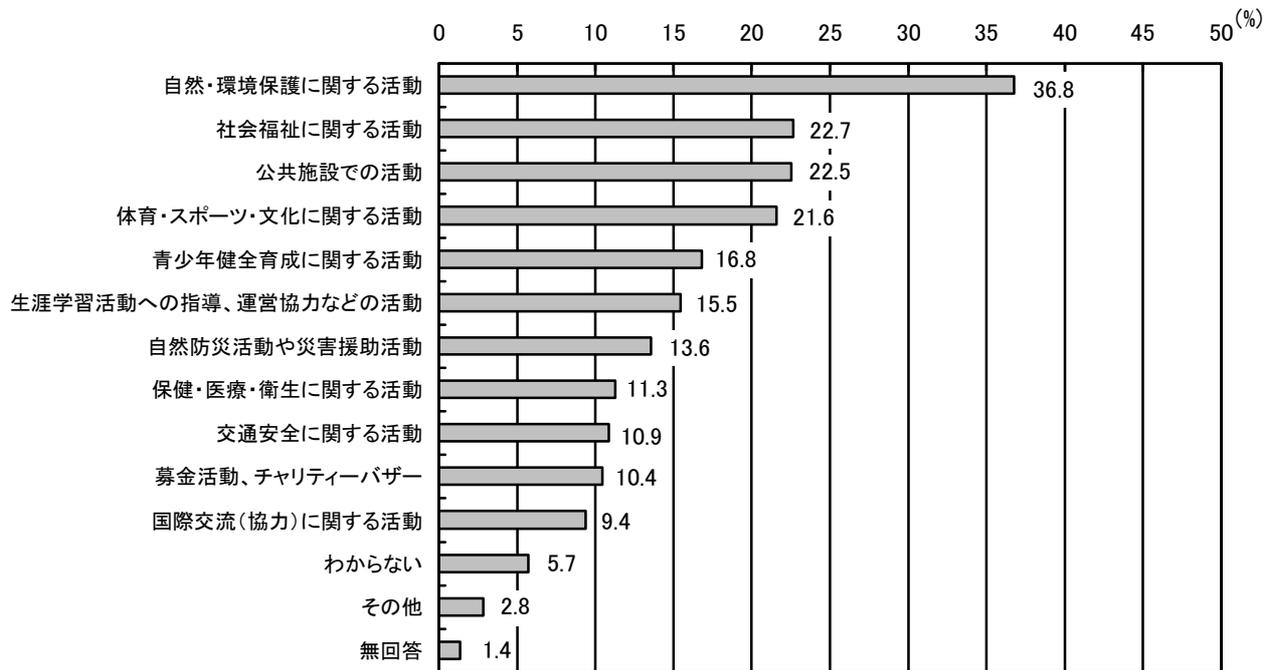
また、20～29歳では「社会福祉に関する活動」が1位となっているが、他の年代では4・5位と順位が大きく下がっている。一方、「自然・環境保護に関する活動」は20～39歳では5位となっているが、40歳以上は、上位に位置し、50～59歳・70歳以上では1位となっている。

60～69歳は1位と5位までの割合の差が3.2ポイントと少なく、各分野において活動されていると思われる。(表4-2-2)

### 4-3 活動してみたいボランティア活動の種類

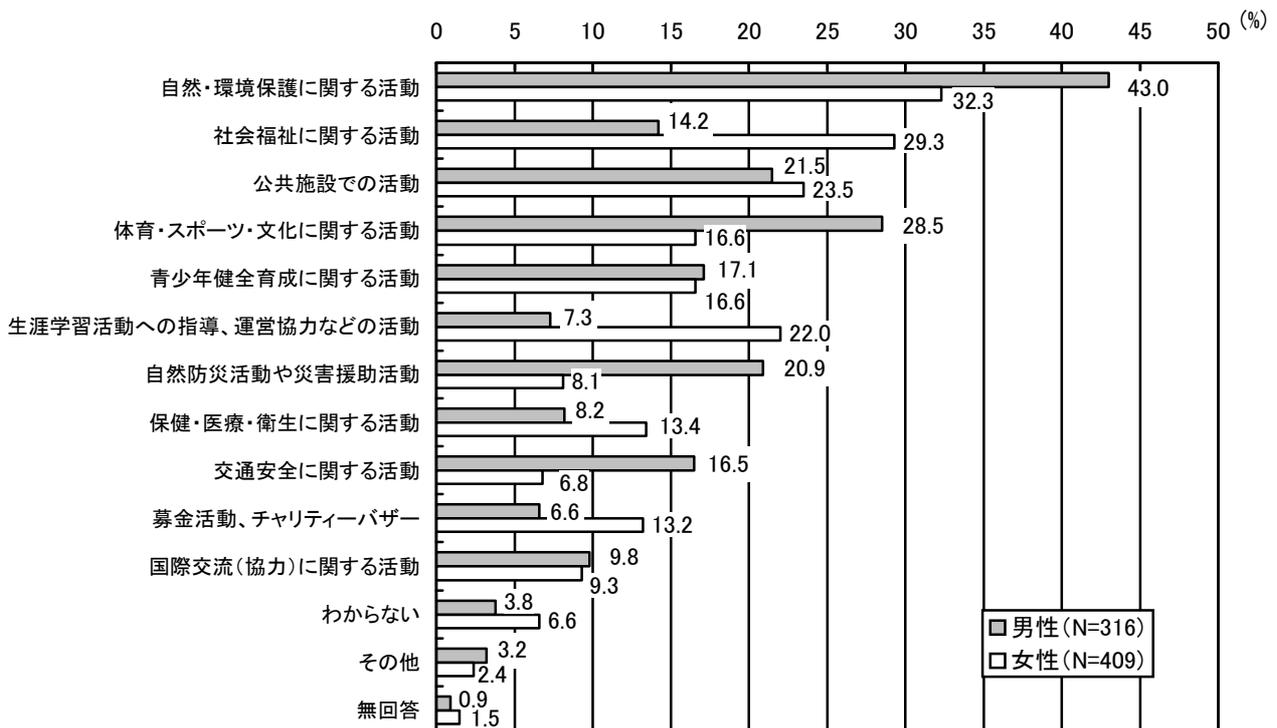
問8で「3. ぜひしてみたい」、「4. 機会があればしてみたい」と答えられた方にお尋ねします。  
 問8-2 今後、どのようなボランティア活動をしてみたいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

図 4-3 (活動してみたいボランティア活動の種類 複数回答) 【n=737】



活動してみたいボランティア活動では「自然・環境保護に関する活動」が 36.8%と最も高く、次いで「社会福祉に関する活動 (22.7%)」「公共施設での活動 (22.5%)」「体育・スポーツ・文化に関する活動 (21.6%)」の順となっている。(図 4-3)

図 4-3-1 (性別 活動してみたいボランティア活動の種類 複数回答)



性別にみると、男性より女性の割合が高い活動は、「社会福祉に関する活動」「生涯学習活動への指導、運営協力などの活動」「募金活動、チャリティーバザー」「保健・医療・衛生に関する活動」となっており、それぞれ 15.1、14.7、6.6、5.2 ポイント高くなっている。また、男性の割合が高い活動は、「自然防災活動や災害援助活動」「体育・スポーツ・文化に関する活動」「自然・環境保護に関する活動」「交通安全に関する活動」となっており、それぞれ 12.8、11.9、10.7、9.7 ポイント高くなっている。

また、上位 3 項目では、男性は「自然・環境保護に関する活動（43.0%）」「体育・スポーツ・文化に関する活動（28.5%）」「公共施設での活動（21.5%）」の順になっているのに対し、女性は「自然・環境保護に関する活動（32.3%）」「社会福祉に関する活動（29.3%）」「公共施設での活動（23.5%）」の順となっている。（図 4-3-1）

表 4-3-2（年齢別 活動してみたいボランティア活動の種類 複数回答）【単位：％】

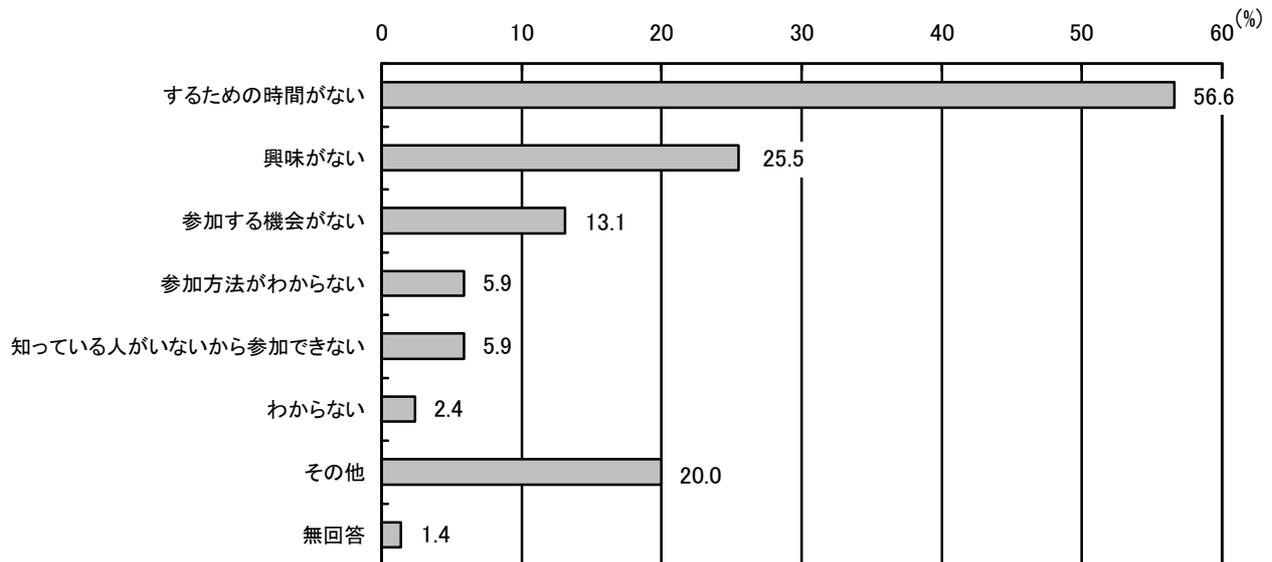
	20～29歳 (n=69)	30～39歳 (n=143)	40～49歳 (n=115)	50～59歳 (n=172)	60～69歳 (n=152)	70歳以上 (n=74)
1位	体育・スポーツ・文化に関する活動 33.3	自然・環境保護に関する活動 38.5	自然・環境保護に関する活動 38.3	自然・環境保護に関する活動 40.1	自然・環境保護に関する活動 36.8	自然・環境保護に関する活動 29.7
2位	自然・環境保護に関する活動 31.9	体育・スポーツ・文化に関する活動 30.1	公共施設での活動 32.2	社会福祉に関する活動 30.2	社会福祉に関する活動 21.7	交通安全に関する活動 21.6
3位	青少年健全育成に関する活動 26.1	青少年健全育成に関する活動 25.9	体育・スポーツ・文化に関する活動 31.3	公共施設での活動 23.3	公共施設での活動 20.4	公共施設での活動 12.2
4位	生涯学習活動への指導、運営協力などの活動 23.2	公共施設での活動 22.4	青少年健全育成に関する活動 22.6	生涯学習活動への指導、運営協力などの活動 19.8	生涯学習活動への指導、運営協力などの活動 15.8	生涯学習活動への指導、運営協力などの活動 12.2
5位	公共施設での活動 21.7	社会福祉に関する活動 22.4	社会福祉に関する活動 22.6	体育・スポーツ・文化に関する活動 16.3	体育・スポーツ・文化に関する活動 14.5	募金活動、チャリティーバザー 12.2

年齢別にみると、ほとんどの年代で「自然・環境保護に関する活動」が最も多くなっているが、20～29 歳では「体育・スポーツ・文化に関する活動」が 1 位（33.3%）となっている。また、「青少年健全育成に関する活動」では 20～29 歳・30～39 歳では 3 位、40～49 歳では 4 位と年齢が若い程割合が高くなっており、50 歳以上では 5 位以内に入っていない。70 歳以上では全体で 9 位の「交通安全に関する活動」が 2 位（21.6%）に入っており、全体で 10 位の「募金活動、チャリティーバザー」が 5 位（12.2%）となっている。（表 4-3-2）

#### 4-4 ボランティア活動をしたくない理由

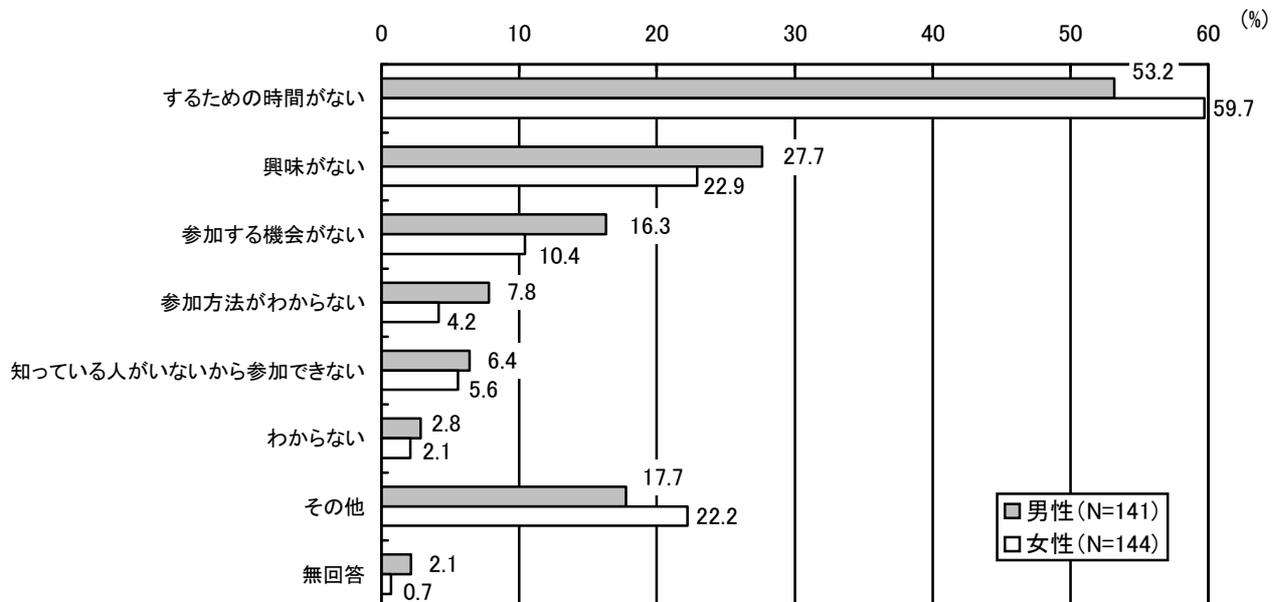
問8で「5. してみたいとは思わない」と答えられた方にお尋ねします。  
 問8-3 してみたいと思わない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図 4-4 (ボランティア活動をしたくない理由 複数回答)【n=290】



ボランティア活動をしてみたいと思わない理由では「するための時間がない」が 56.6%と最も高く、次いで「興味がない (25.5%)」「参加する機会がない (13.1%)」の順となっている。(図 4-4)

図 4-4-1 (性別 ボランティア活動をしたくない理由 複数回答)【n=290】



性別にみると、男性より女性の割合が高い理由は、「するための時間がない」で 6.5 ポイント高くなっている。また、それ以外の理由は男性の割合が高くなっている。(図 4-4-1)

表 4-4-2 (年齢別 ボランティア活動をしたくない理由 複数回答)【単位：%】

	20～29歳 (n=22)	30～39歳 (n=46)	40～49歳 (n=46)	50～59歳 (n=54)	60～69歳 (n=46)	70歳以上 (n=72)
1位	するための時間がない 50.0	するための時間がない 76.1	するための時間がない 71.7	するための時間がない 79.6	するための時間がない 43.5	その他 38.9
2位	興味が無い 36.4	興味が無い 32.6	興味が無い 28.3	興味が無い 20.4	その他 28.3	するための時間がない 27.8
3位	その他 22.7	参加する機会がない 19.6	知っている人がいないから参加できない 13.0	参加する機会がない 13.0	興味が無い 21.7	興味が無い 20.8
4位	参加する機会がない 18.2	その他 8.7	その他 10.9	参加方法がわからない 3.7	参加する機会がない 19.6	参加する機会がない 8.3
5位	わからない 9.1	参加方法がわからない 6.5	・参加する機会がない ・参加方法がわからない 6.5	・知っている人がいないから参加できない ・わからない ・その他 3.7	参加方法がわからない 6.5	・参加方法がわからない ・知っている人がいないから参加できない 6.9

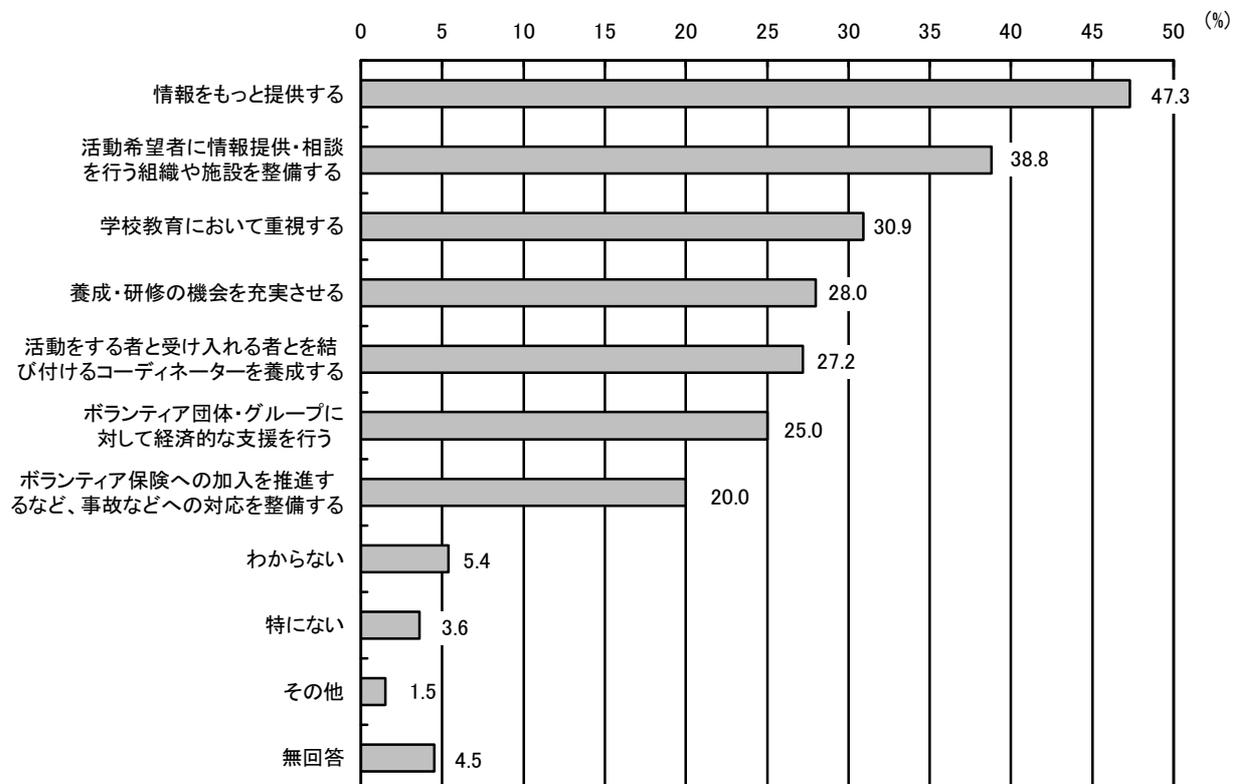
年齢別にみると、「興味が無い」と答えた人は年齢が高いほど、割合が低くなっている。「するための時間がない」と答えた人は30～59歳で7割を超え、50～59歳では79.6%と最も高くなっている。逆に70歳以上が最も低く27.8%となっている。(表 4-4-2)

#### 4-5 ボランティア活動推進のための施策

全ての方にお尋ねします。

問9 ボランティア活動推進のためには、どのような施策を充実させるべきだと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

図 4-5 (ボランティア活動推進のための施策 複数回答)【n=1,863】



ボランティア活動推進のために充実すべき施策では「情報をもっと提供する」が47.3%と約半数で最も高く、次いで「活動希望者に情報提供・相談を行う組織や施設を整備する (38.8%)」「学校教育において重視する (30.9%)」「養成・研修の機会を充実させる (28.0%)」の順となっている。

(図 4-5)

表 4-5-1 (年齢別 ボランティア活動推進のための施策 複数回答)【単位：％】

	20～29歳 (n=161)	30～39歳 (n=289)	40～49歳 (n=267)	50～59歳 (n=367)	60～69歳 (n=380)	70歳以上 (n=360)
1位	情報をもっと提供する 57.1	情報をもっと提供する 56.4	情報をもっと提供する 53.6	情報をもっと提供する 54.5	情報をもっと提供する 40.8	活動希望者に情報提供・相談を行う組織や施設を整備する 34.4
2位	学校教育において重視する 42.2	活動希望者に情報提供・相談を行う組織や施設を整備する 38.8	活動希望者に情報提供・相談を行う組織や施設を整備する 41.2	活動希望者に情報提供・相談を行う組織や施設を整備する 42.8	活動希望者に情報提供・相談を行う組織や施設を整備する 40.0	情報をもっと提供する 31.1
3位	活動希望者に情報提供・相談を行う組織や施設を整備する 36.6	学校教育において重視する 33.6	学校教育において重視する 40.4	活動をする者と受け入れる者とを結び付けるコーディネーターを養成する 31.6	養成・研修の機会を充実させる 29.7	学校教育において重視する 28.9
4位	ボランティア団体・グループに対して経済的な支援を行う 29.2	活動をする者と受け入れる者とを結び付けるコーディネーターを養成する 27.3	養成・研修の機会を充実させる 34.1	養成・研修の機会を充実させる 31.1	ボランティア団体・グループに対して経済的な支援を行う 27.4	養成・研修の機会を充実させる 22.5
5位	活動をする者と受け入れる者とを結び付けるコーディネーターを養成する 27.3	ボランティア団体・グループに対して経済的な支援を行う 26.6	活動をする者と受け入れる者とを結び付けるコーディネーターを養成する 32.2	学校教育において重視する 27.8	活動をする者と受け入れる者とを結び付けるコーディネーターを養成する 25.5	活動をする者と受け入れる者とを結び付けるコーディネーターを養成する 21.1

年齢別にみると、ほとんどの年代で「情報をもっと提供する」が最も多くなっているが、年齢が上がるにつれて割合が少なくなっており、70歳以上では「活動希望者に情報提供・相談を行う組織や施設を整備する」が最も多く34.4%となっている。

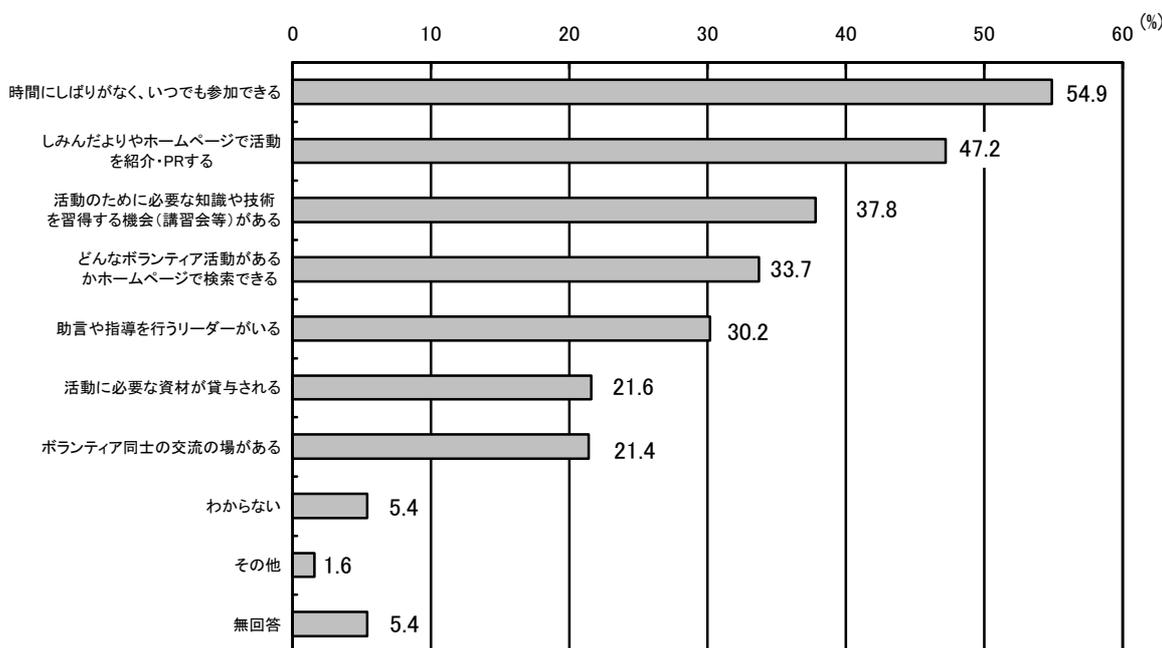
2位では、20～29歳は「学校教育において重視する」、30～69歳は「活動希望者に情報提供・相談を行う組織や施設を整備する」、70歳以上は「情報をもっと提供する」となっている。

また、40歳以上では「養成・研修の機会を充実させる」が、4位以内に入ってきている。(表 4-5-1)

#### 4-6 ボランティア活動に必要なだと思う条件

問10 ボランティア活動に必要なと思う条件は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 4-6 (ボランティア活動に必要なと思う条件 複数回答)【n=1,863】



ボランティア活動に必要なだと思う条件では、「時間にしぼりがなく、いつでも参加できる」が最も高く、54.9%となっている。次いで「しみんだよりやホームページで活動を紹介・PRする(47.2%)」「活動のために必要な知識や技術を習得する機会(講習会等)がある(37.8%)」の順となっている。(図 4-6)

表 4-6-1 (年齢別 ボランティア活動に必要なと思う条件 複数回答)【単位：%】

	20～29歳 (n=161)	30～39歳 (n=289)	40～49歳 (n=267)	50～59歳 (n=367)	60～69歳 (n=380)	70歳以上 (n=360)
1位	時間にしぼりがなく、 いつでも参加できる 58.4	時間にしぼりがなく、 いつでも参加できる 55.7	時間にしぼりがなく、 いつでも参加できる 64.4	時間にしぼりがなく、 いつでも参加できる 62.4	時間にしぼりがなく、 いつでも参加できる 53.4	しみんだよりやホームページで活動を紹介・PRする 40.8
2位	どんなボランティア活動があるかホームページで検索できる 49.7	しみんだよりやホームページで活動を紹介・PRする 55.4	しみんだよりやホームページで活動を紹介・PRする 46.1	しみんだよりやホームページで活動を紹介・PRする 52.0	しみんだよりやホームページで活動を紹介・PRする 45.0	時間にしぼりがなく、 いつでも参加できる 39.7
3位	しみんだよりやホームページで活動を紹介・PRする 46.0	どんなボランティア活動があるかホームページで検索できる 43.6	どんなボランティア活動があるかホームページで検索できる 41.9	活動のために必要な知識や技術を習得する機会(講習会等)がある 43.6	活動のために必要な知識や技術を習得する機会(講習会等)がある 38.4	活動のために必要な知識や技術を習得する機会(講習会等)がある 27.8
4位	助言や指導を行うリーダーがいる 41.0	活動のために必要な知識や技術を習得する機会(講習会等)がある 41.5	活動のために必要な知識や技術を習得する機会(講習会等)がある 40.4	どんなボランティア活動があるかホームページで検索できる 36.8	どんなボランティア活動があるかホームページで検索できる 27.6	助言や指導を行うリーダーがいる 23.1
5位	活動のために必要な知識や技術を習得する機会(講習会等)がある 35.4	助言や指導を行うリーダーがいる 31.5	助言や指導を行うリーダーがいる 37.1	助言や指導を行うリーダーがいる 31.9	助言や指導を行うリーダーがいる 25.3	ボランティア同士の交流の場がある 21.4

年齢別にみると、ほとんどの年代で「時間にしぼりがなく、いつでも参加できる」が最も多く、特に40～49歳と50～59歳では6割を超えているが、70歳以上では「しみんだよりやホームページで活動を紹介・PRする」が40.8%で最も多くなっている。

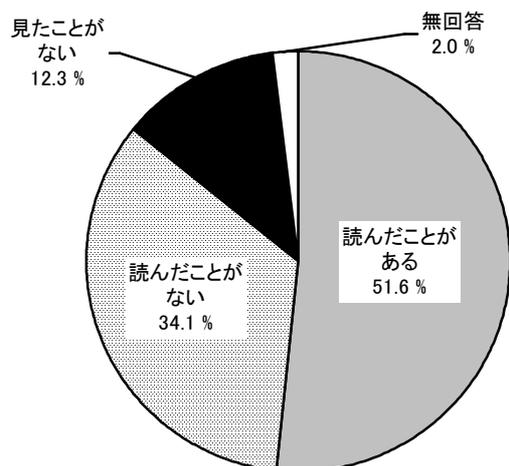
また、「どんなボランティア活動があるかホームページで検索できる」は、20～29歳では2位(49.7%)と多くなっているが、年齢が上がるにつれてその割合が低くなっている。また、70歳以上では「ボランティア同士の交流の場がある(21.4%)」が5位以内に入ってきている。(表 4-6-1)

## 5. 人権啓発について

### 5-1 人権啓発記事「虹のひろば」について

問11 奈良市が発行している広報誌「しみんだより」の人権啓発記事「虹のひろば」を読まれたことはありますか。(○は1つ)

図 5-1(人権啓発記事「虹のひろば」について)【n=1,863】



人権啓発記事「虹のひろば」について、「読んだことがある」が約半数の51.6%と最も多く、「読んだことがない」は34.1%となっている。「見たことがない」は12.3%となっている。(図 5-1)